

いざ、鬼退治へ！有志集う

恋山登山新報 号外

定価 一部無料

【お断り】
本紙はあくまでエンターテイメント目的の新聞です。綿密な取材の上、執筆しておりますが、細かな点や社会に及ぼす影響等につきましては責任を負いかねます。ご了承の上、お楽しみください。尚、登場人物への過剰な表現は愛情故のことで。

©NAOMI YAMAGUCHI 2009



鬼に近づく前に急な坂に撃退され、必死に登る登山客たち。

市江守の里は、鼻の下に溜まった汗を光らせながら、「噂通りの良い山、距離も登り始めの足慣らしに丁度良く、変化に富んだいいルートだ」とかなりご満悦だった。一方、あわよくばトレイルランニングをしようともくろんでいた高橋由紀さん(三六)〓福井市文京は、「勾配がきつ過ぎてトレラン初心者にはまだまだ厳しいルート」と思うように走れずちよつと残念そうだった。



ブナの新緑で森林力を蓄える登山客たち(鬼が嶽にて)

訪れた登山客からは、思い思いの登山を楽しんでいる様子で、音楽を楽しんだり鬼の姿を探したりする歓声があちこちにこだまし、活気にあふれていた。

大型連休の中目、好天に恵まれた各地の山は、多くの登山客で賑わっていた。鬼の伝説が色濃く残る鬼が嶽(越前市大虫)〓標高533mにも、新緑や鬼退治を目的に沢山のパーティーが山頂を目指した。登山者たちは、鬼の住処にふさわしい急勾配が続く道を軽快かつ爽快に登

っていた。鬼退治に参加していた土山実紀さん(三五)〓福井市西谷は、「持病の腰痛が心配でしたが全然大丈夫で安心した。腰痛改善のために登山を続けたい」と息をいやあげながら、きらきらと輝く瞳でこたえてくれた。また、山口尚美さん(三三)〓福井



土山実紀さん(三五)〓福井市西谷 普段の生活はもちろん、

登山に行くときでも「マイ箸、マイ器、ゴミ袋」は必ず持参して登ります。山で出したゴミはすべて持ち帰り、山を汚さないように。

登山者としての最低のルールだと思っています。食材を包んで来たものや割り箸、生ゴミなど、山でご飯を食べるとけつこうゴミがでます。ゴミを減らしたくて、マイ箸やマイ器を持って行くようになりました。うっかりポイ捨て

未来へエコ活
恋山登山新聞3周年プロジェクト

いつでもマイ箸

未来に笑顔を。元気でチュもご覧下さい



KY 共済

石笛・岩笛



実際の岩笛。清水俊晴氏所有。

球形、鶏卵形の石製の気鳴楽器(笛)で縄文時代の遺跡から発掘された、日本最古の笛。高い周波数の澄んだ神秘的な音を奏でる。鳥の鳴き声を真似るのに最適な楽器だが、演奏には熟練を要する。一部登山愛好家の間で劇的なブームとなっている。

NEWSの言葉

新型インフルエをを広げる魔の時間を恐ろしく包み込んで。百年に一度の不況といわれるが、円高と燃油サーチャージ料の大幅値下げで旅行業界はにわか好景気の様子を見せかけていた。そこへ、の雨に襲われるリーマンショックともあれば、慣れた道であつても滑落するこどだつてある。▼備えあれば憂いなし。十分な準備をしたら、後は不

越山若水

安を忘れ、多に楽しむべきだ。大自然の中で心が解放され、脳内にあるメリットを活かすふれだすセロトニンが免疫力を向上させる。マスクなれと伴にウイルスだけでなく、登山の流れあり。しかも新型インフルエもウイルスには潜在力を撃退できる伏期間中でも感染にちがいない。

きょうの紙面

- ① 未来へエコ活
- ② 元気でチュ
- ③ おはなしトントン

救急・労災指定
外科・整形外科・リハビリテーション科
医療法人 山好会
百名山病院
院長 岩山登
荒島岳町一五三三号
土日も18時迄診療